

【二次案内】

2015年 全国コミュニティ・スクール 研究大会 in 上越

大会スローガン

学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール
～夢や志をもち、たくましく生きる人づくり～

開催日

平成27年 7月31日(金)

参加費
無料
事前申込制

会場

上越文化会館<全体会場、第1分科会、第2分科会>
春日謙信交流館<第3分科会> 上越商工会議所<第4分科会>

※受付場所は、お申し込みいただいた分科会ごとです。会場を確認して、受付をして
ください。

プログラム

9:00	10:00	12:00	13:30	14:00	15:00	15:15	16:35	16:45
各分科会場で受付	実践発表 3会場 4分科会 各3発表の 計12実践	昼食	開会行事	行政説明 コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)の 動向と今後の方向性につ いて	休憩	パネルディスカッション 学校や地域の課題解決に 真価を発揮するコミュニ ティ・スクール		閉会行事

行政説明

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の動向と 今後の方向性について

文部科学省 初等中等教育局 参事官(学校運営支援担当) 付

学校運営支援企画官 藤原一成

- 主催 全国コミュニティ・スクール連絡協議会 文部科学省 上越市教育委員会
- 共催 新潟県教育委員会
- 後援 新潟県市町村教育委員会連合会 上越教育大学 日本教育新聞社
新潟県小中学校PTA連合会 上越市地域青少年育成会議協議会
上越地域学校教育支援センター 朝日新聞新潟総局 毎日新聞新潟支局
読売新聞新潟支局 新潟日報社 NHK新潟放送局 BSN新潟放送
上越タイムス社 NST JCV上越ケーブルビジョン
TeNYテレビ新潟 UX新潟テレビ21
- 協力 上越観光コンベンション協会

「2015年 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 上越」の開催にあたって

急速な社会変化の中、子どもたちの輝かしい未来に向け、社会全体で子どもたちを育む教育の重要性が増えています。平成27年3月に出席した教育再生実行会議第6次提言においては、地方創生を実現する教育の在り方等に関わって、「コミュニティ・スクールの拡大のため、制度面の改善や財政面の措置を含め、全ての学校がコミュニティ・スクール化に取り組むための抜本的な方策を講ずるとともに、コミュニティ・スクールの仕組みの必置について検討を進めること」等が提言されました。今後、全国の全ての学校が“ほんまものの”コミュニティ・スクールとして、子どもたちをはじめ地域全体の発展を支える原動力になることを期待しています。

今回の上越大会を通して、未来の担い手となる子どもたちを健やかに育むための様々な取組が共有され、コミュニティ・スクールの輪がさらに広がることを祈念します。

全国コミュニティ・スクール連絡協議会 会長 生田 義久

パネルディスカッション

学校や地域の課題解決に真価を発揮するコミュニティ・スクール ～夢や志をもち、たくましく生きる人づくり

コミュニティ・スクールは、学校や地域の課題解決にどのように真価を発揮するのでしょうか。コーディネーターの進行のもと、3人のパネリストがコミュニティ・スクールについて熱く語ります。

○コーディネーター

千葉大学 教授 天笠 茂

千葉大学教育学部教授。1950年東京都生まれ。筑波大学大学院教育学研究科博士課程単位取得後退学。専門は学校経営学、カリキュラムマネジメント。中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会臨時委員、学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する調査研究協力者会議座長、文部科学省教育研究開発企画評価協力者会議委員などを務める。著書に『カリキュラムを基盤とする学校経営』（ぎょうせい）、『小中一貫教育のマネジメント』（監修・ぎょうせい）、『学校管理職の経営課題（全5巻）』（編集代表・ぎょうせい）など。



○パネリスト

日本大学 教授 佐藤晴雄

東京都大田区教育委員会、帝京大学助教授などを経て2006年から現職。全国コミュニティ・スクール連絡協議会前事務局長のほか、文部科学省「コミュニティ・スクール企画委員会」委員、日本教育経営学会常任理事、中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）など。この間、九州大学、大阪大学、筑波大学大学院の非常勤講師、横浜市・足立区・藤沢市の社会教育委員（議長）等を歴任。専攻は教育経営学・生涯学習論。主な著書に、『学校を変える地域が変わる』『学校支援ボランティア』『コミュニティ・スクールの研究』など。



○パネリスト

横浜市立東山田中学校
コミュニティハウス 館長
竹原和泉

3人の子どもを日本・フランス・米国で育てボランティア活動・PTA活動を行う。横浜市社会教育指導員等を経て現在東山田中学校学校運営協会会長、中学校区学校支援地域本部事務局。文部科学省中央教育審議会教育振興基本計画部会および教育制度分科会臨時委員、現在初等中等教育分科会チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会、地域とともにある学校の在り方に関する作業部会、生涯学習分科会学校地域協働部会専門委員を務める。特定非営利活動法人まちと学校のみらい代表理事。



○パネリスト

新潟県聖籠町
教育長 伊藤順治

新潟県新潟市生まれ。県立小学校教諭、新潟大学教育学部附属新潟小学校教諭、県立小学校長、県義務教育課管理参事、同下越教育事務所長などを歴任。新潟大学教育学部非常勤講師、(財)新潟教育会事務局次長を経て2009年6月、教育長に就任。12年カリキュラム編成、持続的・発展的コミュニティ・スクール体制の構築などに取り組み、2015年4月、改正法による新教育長。新潟県町村教育長会長、全国町村教育長会常任理事。



分科会

(敬称略)

第1分科会		小中連携、一貫教育への発展	
コーディネーター(助言者)		京都産業大学 教授 西川信廣	
会場		上越文化会館 大ホール	
	発表テーマ	発表内容	発表者
1	小・中一貫した学びの成果を地域に発信し、地域づくりに貢献する教育課程	地域講師を活用した「地域学習のまとめ」を中学校で行い、ポスターセッションで地域の方々に発信し、地域の活性化に貢献している。	長野県・塩尻市・辰野町・両小野中学校 両小野中学校 前校長 池上良満 (現塩尻市教育委員会 地域連携コーディネーター)
2	地域で創る『鷹南っ子ジャンプアッププラン』の取組	1.小中3校と地域を一つに 2.熟議「こんな子どもを育てたい」→『鷹南っ子生きる力 育みプログラム』の実施へ	東京都・三鷹市・鷹南学園 鷹南学園長(中原小学校長) 白井千晴 鷹南学園CS委員会会長 松本 猛 鷹南学園CS委員会初代会長 畑谷貴美子
3	地域が支援する直東学園のキャリア教育	キャリア教育を中核にしたカリキュラムづくりを通して小中一貫教育を目指しています。これまでの地域の支援や学校の取組などを紹介します。	新潟県・上越市・直東学園運営協議会 直東学園 理事長 高橋邦夫 春日新田小学校 校長 大山賢一

第2分科会		学校や地域の課題解決や教育活動の変化	
コーディネーター(助言者)		広島経済大学 教授 志々田まなみ	
会場		上越文化会館 中ホール	
	発表テーマ	発表内容	発表者
1	子どもたちの「ほっと」「もっと」「はっと」を支える学校支援センター	学校教育の課題解決に向け、地域住民・保護者・専門性を生かした外部講師の教育力を活用した、学校支援センターの活動	群馬県・伊勢崎市・北小学校 校長 諏訪博昭 教諭 吉村明美
2	「参画」と「参加」による持続的・発展的コミュニティ・スクールの構築	聖籠町の今後の目指す方向と地域に愛される学校づくり、地域を愛する子どもの育成に向けた地域と学校が協働して行動するCSの取組	新潟県・聖籠町・山倉小学校 学校運営協議会 会長 村上達朗 山倉小学校 校長 藤井 聡 聖籠町教育委員会 参事 五十嵐喜代春
3	共育・協育・響育で高め合う汐なりコミュニティ・スクールの取組	汐なりCSが企画、運営する「汐なり教育の日」を中核に、学校と保護者、地域が連携し、一体となって、よりよい教育活動をつくる取組	新潟県・上越市・直江津小学校 学校運営協議会 会長 小林義之 事務局長 渡邊由里子 事務局次長 松岡博志

第3分科会		コミュニティ・スクールの導入への準備や手続き、導入後の運用や運営	
コーディネーター(助言者)		宮崎大学 准教授 押田貴久	
会場		春日謙信交流館	
	発表テーマ	発表内容	発表者
1	経堂小学校地域運営学校立ち上げと2年間の学校運営委員会の取組	平成25年度から地域運営学校の指定を受けた。指定を受けるまでの経緯と、指定を受けた2年間の取組とこれからの方向性について	東京都・世田谷区・経堂小学校 校長 坂本正彦 学校運営委員会 委員長 白木寿美子 学校運営委員会 委員 小谷典子
2	～ともに育む気運を高める～コミュニティ・スクール導入の歩み	平成26年度よりコミュニティ・スクールを立ち上げた。地域に育まれているという思いをもたせ、地域活性化につながる取組を紹介する。	新潟県・刈羽村・刈羽小中学校 刈羽学校運営協議会 会長 新野勝幸 刈羽中学校 教頭 三宮一行 刈羽村教育委員会 指導主事 小林多佳子
3	コミュニティ・スクール指定準備から、これまでの4年の経過を振り返って	準備段階の様子、学校支援本部(実働組織)の活動、学校関係者評価の改善、育成会議との両輪等に触れて、成果と課題を明確にします。	新潟県・上越市・春日小学校 学校運営協議会 会長 古賀野完爾 校長 市川久男

第4分科会		各種団体や地域との連携・協働	
コーディネーター(助言者)		上越教育大学 教授 安藤知子	
会場		上越商工会議所	
	発表テーマ	発表内容	発表者
1	地域とともに歩むコミュニティ・スクールの創造	CSの視点から教育課程を見直し、教育実践を通して、地域の「人・もの・こと」とつながり学ぼう子どもたちの姿をめざした。	山梨県・昭和田・押原小学校 校長 太田 充 教頭 平井昌秀 教諭 田中徳明
2	中郷発! 地域と学校が一体となって展開するコミュニティ・スクール	まちづくりの活動とコミュニティ・スクールの活動が両輪となって地域の子どもの動きを動かしている様子などを、地域と学校から伝えます。	新潟県・上越市・中郷小中学校 NPO法人中郷区まちづくり振興会理事長 竹内靖彦 中郷中学校 校長 七澤伸一
3	合言葉は「ともに育つ、ともに生きる地域の学校」	地域の親父が地域の若者を何とかしようとして立ち上がってから20年、現在に至るまでの過程とCSとなった成果、今後の課題について発表します。	新潟県・上越市・城北中学校 委員(スタートライン指導者) 石田幸雄 委員(地域コーディネーター) 飯塚春枝 委員(校長) 小林晃彦

参加申込方法

○参加を希望される方は、文部科学省のホームページからお申し込みください。

参加申込みページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/suishin/detail/1358494.htm

文部科学省 HP トップ → 教育 → 小学校、中学校、高等学校 → コミュニティ・スクール

○分科会は、会場ごとに収容人数が限られていますので、**先着順**とさせていただきます。ご希望の分科

会に参加できない場合がありますので、ご容赦ください。**申込み締め切り：7月24日(金)**

○宿泊や観光などについては、上越観光コンベンション協会のホームページをご参照ください。

<http://www.joetsu-kanko.net/> 検索：上越観光コンベンション協会

昼食

○昼食は、各自でご用意いただくか、会場周辺の飲食店等をご利用ください。(当日、周辺地図を用意します。)

○数に限りはありますが、各分科会場でお弁当など(1,000円程度)の販売を行います。お弁当の事前申込は受け付けておりませんが、およその数を把握するため、参加申込の際に希望の有無をお知らせください。

交通

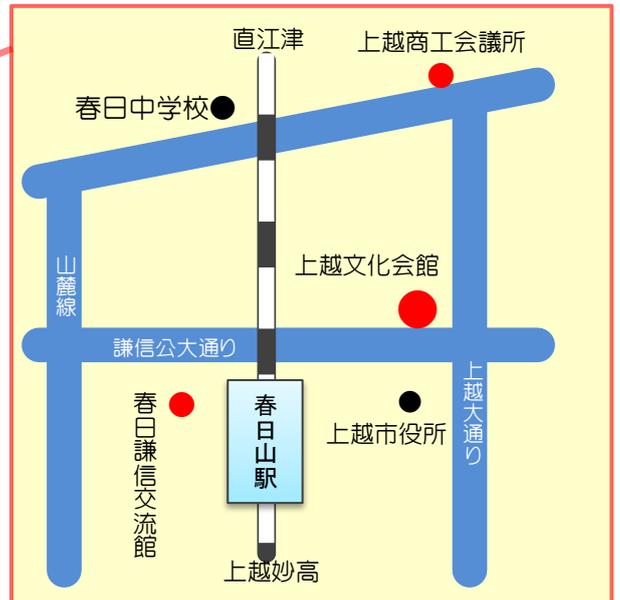
○電車ご利用の方は、えちごトキめき鉄道 妙高はねうまライン「春日山」駅で下車してください。

○会場の駐車場収容数に限りがあります。自動車でご来場の方は相乗りでおいでください。

会場図

※会場は、いずれも、妙高はねうまライン「春日山」駅下車 徒歩5~10分

- 上越文化会館 上越市新光町 1-9-10 TEL.025-525-4103
- 春日謙信交流館 上越市春日山町 3-1-60 TEL.025-521-2066
- 上越商工会議所 上越市新光町 1-10-20 TEL.025-525-1185



【全国コミュニティ・スクール連絡協議会役員】

○会長 京都市前教育長 生田 義久 ○副会長 上越市教育長 中野 敏明

【支部長】

- | | | | |
|-----------|---------------|---------|-----------------|
| ・北海道支部長 | 北広島市教育長 吉田 孝志 | ・東北支部長 | 由利本荘市教育長 佐々田 亨三 |
| ・関東支部長 | 三鷹市教育長 高部 明夫 | ・甲信越支部長 | 上越市教育長 中野 敏明 |
| ・中部支部長 | 岐阜市教育長 早川三根夫 | ・近畿支部長 | 京都市前教育長 生田 義久 |
| ・中国支部長 | 岡山市教育長 山脇 健 | ・四国支部長 | 東みよし町教育長 川原 良正 |
| ・九州・沖縄支部長 | 春日市教育長 山本 直俊 | | |

【問い合わせ先】 新潟県上越市教育委員会 学校教育課 担当：川住 岩片
〒942-8563 新潟県上越市下門前 1770 番地 TEL.025-545-9244 jecomite@jorne.or.jp